

メッセージ

紀州和歌山で歴史や文化を学び、 教養を高めながら 地域とふれあう新しい自分磨きのステージです。



知の交流からはじまる地域の活性化



和歌山大学 学長
小田 章

この度、「大人大学～知の交流をキーワードにした地域活性化～」を開催できますことを大変喜んでおります。今日、都市と地方の格差拡大が取り沙汰されている中、一地方である和歌山を知り、体験していただくことは大変意義あるものと認識しています。

和歌山は、今、人口流出や高高齢化等余り良いイメージがありませんが、県民の皆さんには微塵の暗さもなく、また、平成16年に世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」の他にも様々な資源があり、「ほんまもん」の豊かさを体験できる地域です。

この地で「大人大学」を開催し、和歌山の歴史・文化・自然・人・風土等についての講義による学問知と地域歴訪による体験知を吸収していただき、地方の、和歌山の「ほんまもん」を実感してください。我々は、十分な「おもてなし」の精神で接し、真摯な「学び」を提供いたします。



和歌山県知事
仁坂 吉伸

この秋、「大人大学」を受講される向学に燃えるあなたを和歌山県民を代表して心から歓迎いたします。「大人大学」は、和歌山県の知を代表する和歌山大学や高野山大学を中心に、歴史、文化、伝統、習俗など幅広い分野で和歌山を本格的に学んでいただく初めての試みであります。「知の交流」をキーワードに、世界遺産登録5周年を迎える「高野・熊野」、万葉びとのあこがれの地であった「和歌の浦」や日本三古湯の一つ「白浜温泉」などを舞台に、数々の歴史ロマンを踊らせながら、日本の心そのものを学んでいただけるとともに、一方では日本の原風景の「熊野古道」や江戸時代からの古い町並みの「湯浅」などを実際に訪れることで、暮らしの中で育まれてきた人々の知恵にもふれたいいただけるものと思います。また、開講の秋は実りの時、きっとバラエティーに富んだ和歌山の食の豊かさを体感いただけること請け合いです。今回の「大人大学」は、皆さんの知的好奇心を満足させることはもちろん、本物の和歌山を知っていただき、和歌山ファンになっていただく絶好の機会となるものと確信しております。是非、「大人大学」にご参加され、和歌山にお越し下さい。



紀陽銀行 頭取
片山 博臣

この度、「大人大学」が新たに創設され、和歌山の魅力ある文化を、そしてその深い歴史を、更にその豊かな自然をテーマとした講座が開講されます。私ども地域金融機関は、今日まで、地域の活性化なくして発展はないという理念のもと、『地域社会の繁栄に貢献し、地域と共に歩む』ことを実践してまいりました。平成17年和歌山大学、平成19年和歌山県と「地域活性化に向けた連携協力に関する協定」を締結しておりますが、その一環として今回「大人大学」の開講に協力させていただき運びとなりました。この「大人大学」は「知の交流」をキーワードに和歌山県に短期間ではありますが留学していただき、和歌山を教材とした興味深い講義や体験学習など地域の方々との様々な交流を通して、和歌山の魅力に直接触れ、和歌山の真髄を体感いただきたいと存じます。全国から向学心並びに好奇心に満ちた皆様方のご参加を心より歓迎申し上げますとともに、是非ともこの機会に更に教養を高めていただき、今まで皆様方が気づけなかった「新たな自分自身」の発見を大いにご期待申し上げます。



和歌山リビング新聞社 代表取締役社長
秦 正

和歌山リビング新聞社はシニアマーケットへの取り組みとして、新しいライフステージを提案するメディアの発行や、新しいビジネスチャンスを創発する情報交流会の開催などを実施してまいりました。弊社は高齢化する社会において、益々変化するであろうライフスタイルに注視しています。日本では世界でも類を見ないスピードで高齢化が進展。今世紀の半ばには、国民のおよそ2.5人に1人が65歳以上というシニア社会になることが予測されています。弊社はこのようなシニアたちがアクティブに暮らし、それぞれの能力や経験を地域社会に還元できるような新しいコミュニティの構築が必要と考えます。知の交流をキーワードにした地域活性化をテーマに、和歌山大学と紀陽銀行との連携を図り「大人大学」の創設を実現しました。今後は地域に密着した情報提供の一環として、保有する機能と使命を昇華させ、地域社会に貢献しながら豊かな生活者が繁栄するコミュニティを「大人大学」を通じて創造しようと考えています。